



平成 27 年度 都市景観大賞

「都市空間部門」受賞地区の概要

「景観教育・普及啓発部門」受賞活動の概要

「景観づくり活動部門」受賞取組の概要

「都市景観の日」実行委員会

■主催：「都市景観の日」実行委員会

(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、(一社)日本屋外広告業団体連合会、(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <http://www.udc.or.jp>

「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>きたさいと</small> 北彩都あさひかわ地区 (北海道旭川市)	約 86.2 ha	・旭川市 ・ <small>きたさいと</small> 北彩都あさひかわまちづくり推進会議
ジョンソントン地区 (埼玉県入間市)	約 2.5 ha	・株式会社 <small>いその</small> 磯野商会 ・ <small>わたなべおさむ</small> 渡辺 治建築都市設計事務所
<small>おおてまち まる うち ゆうらくちよう</small> 大手町・丸の内・有楽町地区内、 <small>まる うちなかどお えんどうがいく</small> 丸の内仲通り沿道街区地区 (東京都千代田区)	約 3.9 ha	・千代田区 ・一般社団法人 <small>おおてまち まる うち ゆうらくちよう</small> 大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会 ・特定非営利活動法人 <small>だいまるゆう</small> 大丸有エリアマネジメント 協会 ・三菱地所株式会社

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>さっぽろきた にし</small> 札幌北2西4地区 (北海道札幌市)	約 1.5 ha	・札幌市 ・三井不動産株式会社 ・日本郵便株式会社 ・株式会社 日本設計
<small>にほんまつしたけだねざきたけねどお えんどう</small> 二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区 (福島県二本松市)	約 9.0 ha	・ <small>ただかねざき</small> 竹田根崎まちづくり振興会議 ・福島県 ・二本松市 ・早稲田大学都市計画研究室 ・芝浦工業大学地域デザイン研究室
<small>いかほいしだんがい いしだん こうえん</small> 伊香保石段街地区(石段アルウィン公園) (群馬県渋川市)	約 1.4 ha	・渋川市
<small>しんもんどお</small> 神門通り地区 (島根県出雲市)	約 5.0 ha	・島根県 ・出雲市 ・ <small>しんもんどお よみがえ</small> 神門通り 甦りの会

■ 地区名：ジョンソントン地区

■ 面積：約 2.5 ha

■ 所在地：埼玉県入間市

■ 応募者：株式会社 磯野商会、渡辺治建築都市設計事務所

■ 地区の概要：

当地区は、入間市（人口約 15 万人）にある、西武池袋線の入間市駅から徒歩約 18 分に位置し、地区の南側は富士見公園に接している。1945 年、戦後 GHQ がそれまでの陸軍航空士官学校を接収しジョンソン基地とし、1950 年朝鮮戦争勃発時、基地増強のために民間に米軍ハウスをつくることを求めた。その時に米軍のためのハウスを磯野商会は製糸会社から取得した農園の一部に、24 戸建設する。基地の返還後も、日本人向けに家を貸していたが、再生にかかる 10 年前までに地区は高齢化、老朽化、荒廃化しており、まるでスラムであった。

約 10 年間にわたり老朽化した進駐軍ハウス 24 棟の改修、保全、非進駐軍ハウスを進駐軍ハウスの DNA を継承する現代の進駐軍ハウスとして「平成ハウス」35 棟を設計・建築し、日本家屋（将校の家）4 棟も改修・保全された。その他、建物の再配置や街路、広場の新設、デザインコードの指針の作成、使用規定の作成、インフラの整備、植樹の整備、文化人の誘致、コミュニティへの活動支援（バザールやイベント）などを行ってきており、結果、130 世帯、約 210 人が住まうようになった。地域にはこだわったお店が 50 ほどに増え、各メディアで報道され、週末に訪れる人が増えている。また、月一回のワンデーマーケットが開催され、地区内外の地域の人たちで賑わっており、文化遺産としても見直されている。

■ 審査講評：

本地区は、戦后进駐軍の住宅を建設し賃貸運営してきた民間会社が、その後の荒廃・スラム化した困難な状態を克服し、「進駐軍ハウス」という文化遺産を改修・保全して、文化的で魅力溢れる住宅地の景観を生み出した価値ある事例である。留学先の米国でコミュニティを大切に作る住宅地づくりを学んだ建築家との出会いから、夢のあるこの事業が実現した。ここには戦前に同会社が建設した陸軍将校用の日本家屋も数多くあった。その一部を現代的なセンスで再生・活用する一方で、老朽化した大半の家屋を取り壊し、進駐軍ハウスの遺伝子を継承しつつ、内部の機能アップを果たした「平成ハウス」を設計・建設し、景観上の一体感がある日本離れした洒落た住宅地の町並みを創り出した。進駐軍ハウスは、内部のトラスを残しつつ、現代的な空間にリノベーションされる。アメリカ風の自由で文化的な雰囲気惹かれた家族が集まり、独特のコミュニティが生まれている。戸建て住宅の間に柵がなく、路地の外部空間は交流の場や子供の遊び場となる。大規模開発による街づくりとは対極にある、このような土地と建物の記憶を大切にしたい小規模で顔の見える景観づくりの努力を高く評価したい。（陣内）



当地区は、西武池袋線の入間市駅から徒歩 18 分、当時の米軍のゲートの前に位置する。奥の公園は地区の南側の富士見公園。かつての農地解放で接収された土地である。



屋根の構造を 2×4 構造とし、屋根裏部屋に住むことができ、床暖房がある「平成ハウス」。米軍ハウスの小屋組みはトラス構造であったため、屋根裏に部屋をつくることができなかった。屋根裏部屋に住んで店を持つことができ、借家であるが、内装を自由にしてもよいとしている。



約 60 年前に建てられた米軍ハウス、この地区には当時の米軍ハウスが 24 軒残っており、全てが改修・保全され、使われている。この棟は写真スタジオとして使われており、改修に 1 年以上かけられた。



街路の左が新築の平成ハウスの町並み、右が米軍ハウスの町並み、右手前がセキスイハイムの 2 階建ての 2 階部分を撤去し、外装内装を改修し、米軍ハウス風に作り替えた棟。いずれも白で統一され、屋根の傾斜も合わせてある。